

2020熊本県高等学校バレーボール競技大会実施要項

- 1 大会名 2020熊本県高等学校バレーボール競技大会
- 2 主催 熊本県高等学校体育連盟・熊本県教育委員会
- 3 後援 熊本県バレーボール協会
- 4 主管 熊本県高等学校体育連盟バレーボール専門部
- 5 期日 令和2年 7月25日(土)～7月26日(日)
- 6 会場 玉名市総合体育館・玉名勤労者体育センター他
- 7 競技種目 バレーボール
- 8 競技日程 第1日目 7月25日(土) 1回戦～3回戦(チーム数により変更あり)
第2日目 7月26日(日) 準々決勝戦・準決勝・決勝戦(チーム数により変更あり)
- 9 競技規則 令和2年(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
ネットの高さは、男子2.43m、女子2.24mとする。
- 10 競技方法 (1) トーナメント戦とし、3位決定戦は行わない。
(2) 全試合3セットマッチ、フルセットの3セット目は15点マッチとする。
- 11 参加資格 チームは、(公財)日本バレーボール協会にチーム登録し、熊本県バレーボール協会に令和2年度に加盟されていること。また、監督・コーチ・選手は(公財)日本バレーボール協会個人登録制により有効に登録されていること。さらに、下記の要件を満たすこと。
 - (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
※原則として最終学年生徒を中心とする。
 - (2) 選手は、本連盟加盟校の生徒で、競技要項により参加の資格をえたもの。
 - (3) 年齢は、平成13年4月2日以降に生まれた者とする。
 - (4) チーム編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒の混成を認めない。
 - (5) 複数校合同チームによる大会参加
ア 再編・統合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
イ 少子化等に伴う部員不足による複数校合同チームの大会参加は、別途に定める「複数校合同チームの大会参加規程」に従う。
 - (6) 転校後6ヶ月未満の生徒の参加は認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし一家転住等のやむを得ない事由による場合は、高体連会長の認可があれば、この限りでない。
 - (7) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
 - (8) その他の事項については、全国高等学校体育連盟規定、九州高等学校体育連盟規定の参加資格に準ずる。
 - (9) 参加資格の特例
ア 上記(1)に定める生徒以外で、(2)～(6)の大会参加資格を満たし、かつ、県高体連が承認した生徒を、「大会参加資格の別途に定める規定」に従い、大会参加を認める。

12 チーム構成

※別紙参照

13 引率・監督・コーチ・マネージャー

- (1) 引率責任者は当該校の教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施工規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出る。(エントリー外の場合は、ベンチには入れない。)
- (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、外部指導者の場合はスポーツ安全保険(傷害、賠償責任保険等)に必ず加入することを条件とする。
- (3) マネージャーは、当該校の生徒でなければならない。

14 個人情報の取り扱い

本大会の参加申込書等によって取得した個人情報の取扱いについては、「熊本県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に基づき取り扱う。なお、参加申込書の提出をもって、これらの取扱いに関して参加者生徒及びその保護者に承諾を得たものとして対応する。

- (1) 参加申込書に記載された個人情報の取扱い
 - ア 大会プログラムに掲載する
 - イ 競技場内でのアナウンス等による照会・コールすることがある
 - ウ 競技場内外の掲示板等に掲載されることがある
- (2) 競技結果(記録)等の取扱い
 - ア 熊本県高等学校体育連盟ホームページで公開することがある
 - イ 大会報告書, 熊本県高等学校体育連盟年報, 熊本県高等学校体育連盟周年記念誌へ掲載することがある
 - ウ 報道機関等の取材により, 新聞等のメディアで公開されることがある

15 参加申込

別紙の申込書類に必要事項を記載し, 期日までに下記に申し込むこと。(FAX不可)

- (1) 申込書類 **①参加申込書および引率の調査(両面印刷)**
②チーム加入選手一覧(JVA個人登録システムより。)

- (2) 申込先 開新高校 中島 健 宛

〒862-8677 熊本市中央区大江6丁目1-33

- (3) 締切期日 **令和 2年 7月 7日 (火)必着**のこと。

※ 不参加の場合も, 上記申し込み先へ必ずご連絡をお願いします。

(不参加の場合の連絡はFAX可 FAX 096-372-6052)

16 参加料

徴収しない

17 抽選会

組み合わせ抽選会(7月8日(水))は, 熊本県高等学校体育連盟バレーボール専門部にて行い, その結果は郵送にて通知する。 ※ 会場や開始時間の確認をお願いします。

18 その他

- (1) 監督・コーチ・マネージャーは, 規定のマークを左胸部につけること。
- (2) 参加申し込み後の選手のメンバー変更は, 大会初日の監督会議までであれば認める。
- (3) 使用球は, (公財)日本バレーボール協会検定人工皮革カラーボールとする。

男子:ミカサ(V300W), 女子:モルテン(V5M5000)

※ 競技規則等に変更がある場合は, 大会初日の監督会議にて説明します。

<別紙>

今大会は、新型コロナウイルスの影響で今夏の全国高校総合体育大会（インターハイ）や熊本県高校総体が史上初めて中止されたことを受け、最終学年の生徒が成果を発揮できるように実施する「代替大会」です。そのため、チームの構成などこれまでの大会とは異なる要件があります。大会の趣旨をご理解いただき、大会運営にご協力をお願いいたします。

○チーム構成について

1. スターティングメンバーは、原則3年生のみの参加とする。

3年生のみでスターティングメンバーが組めない場合は、2年生の参加も認める。3年生・2年生でチーム編成ができない場合のみ、1年生の参加も認める（健康診断を受けたものに限る。）

ただし、その場合のチーム構成は選手8名以内とする。

2. チームは、監督・コーチ・マネージャー各1人、選手14人以内とする。

3. 外国人留学生の参加については、登録2人までとし、内出場は1人とする。

○大会シード権について

今大会は、第1シードから第4シードまでをシードとする。

なお、シードチームは令和元年度県下大会の順位をそのままシードとする。

○シードポイントについて

今大会の結果は、次大会のシード順には反映されない。

○参加料について

今大会の各チームの参加料は、必要ありません。

2020熊本県高等学校各競技大会に係る感染拡大防止ガイドライン

熊本県教育委員会
熊本県高等学校体育連盟

1. 大会の参加規定

(1) 部員（マネージャーを含む）の参加は、同意書（別紙1-1）を提出したものに限り。

2. 感染防止対策規定

(1) 主催者の責任において、下記の感染防止対策を講じる。【主催者対策】

ア 大会当日前までに37.5℃以上の発熱が3、4日続いた日があったり、極度のせき・倦怠感などの症状があったものについては大会参加を見合わせる。

イ すべての関係者（役員・審判員・補助員・顧問・部員）に、事前の健康観察及び検温を実施させ、37.5℃以上の発熱者や体調不良者への参加を断る。

ウ すべての来場者に、マスクを着用させ、こまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを励行させる。消毒液を会場入り口等に設置する。

エ 役員及び補助員は必要最小限の人員で業務を行う。

オ 放送室、記録室が密室、密集にならないよう工夫（人数を減らす、風通しを良くするなど）し、工夫できない場合はアナウンス等を行わない。

カ 大会で使用する施設や用具については適宜消毒を行う。

キ 会場内（トイレなど）に感染拡大防止のための表示を行う。

ク 報道各社に要請し、取材者数を最小限の人数で要請する。

ケ ゴミ処理での感染を防止するため、ごみ箱を設置せず、すべてのごみを各自の責任で持ち帰らせる。

(2) 顧問の責任において、下記の感染防止対策を講じる。【参加校対策】

ア 顧問・部員は、大会当日、検温を含めた健康観察を行い、検温確認表（別紙2）を提出の上、顧問は参加部員の体調管理に努める。

イ 検温の結果、37.5℃以上の熱又は体調不良（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）部員がいた場合は大会の参加を見合わせる。

ウ すべての部員に、移動中やアップ、試合中以外の時間はマスクを着用させ、こまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを励行させる。

エ ミーティングなどは密集にならないよう配慮し、短時間で済ませる。

オ 水分補給は、各自で準備するなどして、コップを共用し飲み回しなどを行わないようにする。

カ 部員及び保護者の応援が許可された競技は、入場者名簿（別紙3・4）を提出の上、間隔を2m以上とって観戦するよう指導する。

また、大声を出さないようにし、拍手での応援を基本とする。（メガホン・太鼓等の鳴り物禁止）

キ バスでの移動は、過密乗車にならないように運行計画を工夫すること。

(3) 主催者の責任において、下記の対策を講じる。【大会・学校・報道関係者の対策】

ア 来場した大会関係者、学校関係者、報道関係者は会場入口で感染防止チェックおよび入場者名簿（別紙5）への記入を行う。また、必ず検温し、37.5℃以上の場合は入場を断る。

イ 取材は、大会会場外の指定の場所を基本とし、チーム関係者とメディア関係者は2m以上離れることとする。

3. 関係者から感染者または濃厚接触者が発生した場合の規定

(1) 大会前に関係者（部員・指導者・大会役員）から感染者または濃厚接触者が発生した場合は、主催者は大会の実施を再検討し場合によっては実施を見送る。